
教育総合センター

NO. 144

だより

平成 29. 5. 1



「教職員の学びのタワーとして」

教育総合センター

所長 西川 嘉彦

この度、教育総合センター所長を拝命いたしました西川 嘉彦でございます。どうぞよろしく申し上げます。

平成 29 年度より、教育総合センターは学校教育部内の課から、「教職員の学び支援課」を持つ部の体制になりました。耳慣れない課名ではありますが、これまで同様、研修等を通じて教職員を支援していきたいと考えております。

さて、今年の 3 月に新しい学習指導要領が告示されました。その中では、児童生徒の生きる力を育むことを目指すため実現すべきことの最初に、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること」と記されております。

そのことは、教職員にも言えることではないかと考えております。すなわち、基礎基本的な指導力、経験や分野に応じた専門性、そして、主体的に専門性を高めるための意欲等がますます必要になるわけです。

教育総合センターでは、かねてからその目的のもと、様々な教職員研修を体系的に実施してまいりました。また、平成 28 年度からは、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践力をより高めるために、「アクティ

ブラーニング学習モデル研究事業」を実施しております。

しかし、これからは教職員自身が主体的に専門性を高めることや、いろいろな分野の人たちと協働して取り組む姿勢が一層望まれます。

本年度、尼崎市では外部の研究者を迎えた「尼崎市学びと育ち研究所」を新たに設置し、多様な実践や中長期的な効果測定を通じた科学的根拠に基づく先進研究等を行っていくことになりました。

教育総合センターでも、教職員の自主研究グループ活動費を補助する「学びの先進研究サポート事業」を実施することで、自主的研究や先進的研究の活性化を図ることとしておりますが、「尼崎市学びと育ち研究所」とも積極的に連携していきたいと考えております。

それらの取組を通して、本市の教職員が外部の多様な人たちとも関わりを深め、自らの教育実践をより幅広く高めることを目指していきます。

教育総合センターの位置する、旧大学敷地全体は、「あまがさきひと咲きプラザ」として整備されることとなっております。その中で、教育総合センターの建物も、「ひと咲きタワー」と名付けられましたが、その名の通り、尼崎の教職員の学びのタワーとして、より充実させてまいります。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

一昨年度の組織再編に伴い、教育総合センターは、「研修」と「情報教育」の2つを担当しております。新学習指導要領に対応する、きめ細かな支援ができるようにしていきます。

1 研修担当

県や市の方針のもと本市課題をふまえ、「人材育成」、「他部門との連携」、「今日的課題への対応力」の強化を本年度の研修の柱にして、研修業務と教育研究業務に取り組んでいきます。

(1) 受講しなければならない研修（基本研修）

校・園長研修等の職階別研修、職務別研修、中堅教員資質等向上研修（10年経験者研修を改称）等の教職年数別研修を実施します。教職年数別研修では、1年目から中堅教員まで幅広く教師力を高めるための研修を計画しています。一昨年度から初任者研修の再編により、従来25日の校外研修が22日となり、その分、2年次・3年次にも研修を続けて行います。また、中堅教員研修の更なる充実を図ると共に、「授業で勝負できる教員」育成に力を入れていきます。さらに、新学習指導要領に対応できるよう全小学校教員対象の外国語活動研修及びアクティブラーニングに関する研修を継続して実施します。

職務別研修では、昨年度実施したリーダー養成研修を今年度も実施します。「学校組織において、リーダーとして期待すること」「リスクマネジメント（防災教育）」「学校運営に係る教育法規について」「学校力向上に向けての実践について」「校内授業研修マネジメント」をテーマとして実施予定です。

この他、市内全幼稚園、保育園・保育所等の就学前教育研修を開催し、就学前の考え方を共有していく取り組みを進めていきます。また、実技の部分も学べる機会を設定するとともに、幼小のつながりを鑑みて、小学校教員にも参加いただけるような研修内容にしていきます。

(2) 希望による研修（専門研修）

学校現場が抱える諸問題の解決をサポートするため多様な研修講座を分野別に設定しています。

(ア) 教育課題等への対応研修

(イ) 教科等の指導力向上を目指した研修

教育課題等への対応研修では、人権教育研修、情報教育に関する研修や心の充実のためのカウンセリング研修、生徒指導・不登校児童生徒支援研修、特別支援教育研修、子ども理解のための研修などに取組みます。また、教科等の指導力向上を目指した研修では、教科ごとの講座以外にマイスター教員による授業や実践から学ぶ研修を実施します。

(3) 特別に実施する研修

特別に実施する研修では、緊急性や必要性のある喫緊の課題に応じた研修を実施します。

(4) マイスター認定事業

教員の資質・指導力の向上を図るため、教科指導等において優れた教育実践を進める教員を表彰するとともに、優れた授業を広く公開し、実践的指導力の向上を支援します。

(5) 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、担当指導主事や指導員と共に、実践的な研究に取り組めます。今年度は、昨年度まで3年間実施しておりましたユニバーサルデザイン化研究部会を終了し、道徳の教科化に向けて、道徳科教育研究部会を立ち上げます。「道徳性を育むための効果的な指導」「道徳価値に迫る中心発問のあり方や多様な意見を出し合える授業づくりの工夫」「児童生徒が自らの成長を実感できるような評価」に焦点を当てて研究を進める予定です。また、昨年度に引き続き、外国語活動・英語科教育研究部会も実施します。今年度も、年度末に部会による公開授業を中心に据えた、研究発表会を開催する予定です。



(教育総合センター 研修室)

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

2 情報教育担当

教育の情報化推進に向けて、学校でのICT活用や、情報モラル・情報セキュリティに関する教育を推進するとともに、ネットワークシステムの効果的な運用とそれらに関する研修を実施します。また、情報教育に関する調査・研究・教材開発も学校や関係機関と連携しながら進め、成果を広めていきます。

(1) 学校ホームページ関係

各学校・園からのホームページ更新申請を受け付けて処理し、インターネットへの公開を行うとともに、効果的な情報発信を推進します。また、学校・園のホームページ作成を支援します。

学校・園のホームページ更新回数は、年々増加の傾向にあり、CMS（コンテンツ・マネジメント・システム）によるホームページの作成・編集に取り組む学校・園もあります。

(2) 教育の情報化研修

下記のような研修や各学校へ出向いての研修を実施し、ICT機器の活用及び教育の情報化を推進します。

- ・教育用コンピュータシステム管理担当者研修
- ・小・中・特別支援学校初任者対象の情報教育研修
- ・校務支援システム研修講座
- ・情報モラル・セキュリティ研修講座
- ・プログラミング教育研修講座
- ・小・中・特別支援学校ICT活用研修

(3) 学校ICT関係

学習用コンピュータ等、学校のICT機器環境を整備し、学習指導要領に示された情報教育を推進します。

中学校では、平成26年度にコンピュータ教室を更新し、その時に導入したプロジェクターも含めて、プロジェクターとパソコンを普通教室に持ち込んで活用する授業も見られるようになっていきます。

小学校では、平成27年度にコンピュータ教室を更新し、その中で児童用タブレット40台を整備して、さらなる情報教育の推進を図っているところです。

(4) AMA-NET管理業務

コンピュータ・ネットワークが利用できる環境を整備し、事務処理の効率化をめざしたシステムの利用促進を図ります。また、メールや掲示板等を活用し、学校と教育委員会との情報交換等の円滑化を図ります。

メールでは、教職員に職務用の個人メールアドレス

を配布し、例えば、教科等の研究会での連絡等に活用されています。

(5) 調査・研究・教材開発

学校におけるICT及び学校情報通信ネットワークシステムの活用や、教育の情報化の推進に取り組みます。

アクティブ・ラーニング授業実践部会を中心に、学校や関係機関と連携しながら、実証的な研究を深め、教育実践に役立つ研究成果を市内に広めることで、本市における教育の充実を図ります。

昨年度のアクティブ・ラーニング授業実践部会では、中学校17校から推薦された部員により、年間を通してアクティブ・ラーニングの授業での実践等に取り組み、各学校での授業や校内研修の実践をまとめた「アクティブ・ラーニング通信」を冊子にして部員に配布して、部会の内容等を校内でも広めてもらえるようにしました。

また、児童・生徒の確かな学力定着のため、ICTの利点を活かした家庭学習等を推進することにより、学習習慣の定着と学力向上を図ります。

例えば、家庭からでもアクセスできる学習支援システムの活用や、問題データベース等の放課後学習等での活用を進めているところです。



↑ (写真) 昨年6月に移転した教育総合センターの4階にあるコンピュータ研修室

教育総合センター 事務分掌表 平成29年5月1日現在

教育総合センター 所長 西川 嘉彦	
教職員の学び支援課長 重信 親秀	
研修担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員研修 ※教育に関する調査・研究・教材開発 ※教育総合センターの運営・計画調整 ※予算管理 ※文書管理 ※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行 ※教科書センターの管理	
係長	井上 雅登 研修担当の総括、特別臨時研修、指導力パワーアップ事業 児童生徒文化充実支援事業
指導主事	田中かおり 海外・中央派遣研修、初任者研修(中・拠点) 児童生徒文化発表会、基金事業 【研修・校・園長、教頭研修(1)、人権教育、音楽科、道徳教育 アプローチスタートカリキュラム】
指導主事	相方 伸二 県管理職研修、高等学校関係、英語教育強化地域拠点事業 初任者研修(幼・高)、7年目教員研修、研究所連盟、4年目教員 研修、中堅教諭等資質向上研修(幼・高)、5・15・20年次研修 【研修・算数教科教育アクティブ・ラーニング部会研修、算数科 学校飼育、英語科、一般教養、栄養教諭、アプローチ】
指導主事	松本 隆範 養護教諭研修、キャリア教育研修、初任者研修(小) マイスター事業【研修・外国語活動、総合的な学習、特別活動 技術科・家庭科、国語科教育アクティブ・ラーニング部会】
指導主事	児玉 崇 県立教育研修所関係、特別支援教育関係、中学校全体教科 研究会、兵庫教育大学大学院派遣、中堅教諭等資質向上研修 名簿管理【研修・就学前教育、管外転入教員、子ども理解、 特別支援コーディネーター担当、体育科、国語科、学級集団作り】
主任	池内 猛 予算・決算、複合施設の維持管理、庶務
嘱託員	入江やよい 教育情報誌の発行、学校相談
嘱託員	松浦かおり 資料収集・提供、教科書センターの管理
嘱託員	大龍 雅子 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	尾崎 一郎 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	木村 啓子 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	上玉利敏昭 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	小笹 雅幸 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	大川 泰三 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	山内 宏美 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	中嶋 修一 授業改善アドバイザー業務
嘱託員	堀川夫美子 授業改善アドバイザー業務
再任用(短)	幾田 喜憲 自主グループ支援相談役
臨時職員	白髪 之智 管理業務事務補助

情報教育担当 TEL6494-3155 (Fax6494-3151)	
※教職員研修 ※情報教育に関する調査・研究・教材開発 ※教育の情報化推進(ICT活用)・情報モラル教育 ※複合施設の維持管理 ※ネットワークシステム活用 ※視聴覚センターの運営・計画調整	
係長	民谷 洋二 情報教育担当の総括、研修管理、高等学校PC
指導員	藤井 俊史 中学校・特別支援学校校務支援システム、中学校・琴城分校 PC(機器管理とシステム活用)、AMA-NETの管理 (メール・ホームページ等)
指導員	小谷 隆宏 小学校・特別支援学校校務支援システム、小学校・特別支援 学校PC(機械管理とシステム活用) AMA-NETの管理(ネットワーク・機器等)
嘱託員	原田 正邦 学校事務処理支援システム、視聴覚ライブラリー管理、学校相談
臨時職員	山崎 敏広 情報教育ネットワーク管理事務補助
臨時職員	岡田 綾 情報教育ネットワーク管理事務補助

開館時間ご案内

開館時間ご案内 平日 午前9時～午後9時

発行 尼崎市立教育総合センター(尼崎市若王寺2丁目18番1号)

発行者 西川 嘉彦

題字 岡本 元興(元尼崎市教育委員)

教育情報コーナーおよびフィルムライブラリーのお知らせ

☆教育情報コーナーminiのご案内

- 教育情報コーナーminiは旧トマス大学の図書館棟の中の3階です。
- ・教材や資料の貸出等は、今までと同じようにできますので、ご利用ください。
 - ・先生方に利用していただきたい本や資料、雑誌等を整備しています。
 - ・原則として、貸し出しは6冊2週間です。
 - ・庁内メール便による貸出や返却ができます。(1回に2冊まで)
(申し込み手順)
 - i 教育総合センターホームページを開く
 - ii 【情報コーナー】のアイコンをクリック
 - iii 【貸出方法と図書リストのページはこちらから】をクリック
 - iv 【教育情報コーナーmini図書リスト】をクリック
 - v 【「資料貸出票」の記入例はこちらから】をクリック
 - vi 「資料貸出票」をダウンロードして保存し、必要事項(申請日、著者名、書名、分類番号、登録番号、返却年月日、氏名、勤務先、勤務先電話番号)を記入
 - vii メールの件名を「図書貸出」と記入し、必要事項を記入した「資料貸出票」を添付して下記のメールアドレスに送信
【CEN-KANRI@nd.ama-net.ed.jp】担当：松浦
 - viii 受付終了後本を送付します。

(担当 松浦)

☆フィルムライブラリーのご案内

- ・当センターでは、視聴覚教材・教具の貸し出しや活用の助言等を行っています。
- ・申込書に必要事項を記入し、利用される3日前までに提出してください。
- ・貸し出し数量や期間は、教材は1回につき4本以内で4日以内、教具は1回につき1台(式)で4日以内です。
- ・16ミリ映写機および16ミリ映画の貸し出しについては、当センター発行の認定証または16ミリ映写機操作技術講習会を受講したことを証明する物を所持している方が対象になります。
- ・今年度も16ミリ映写機操作技術講習会を行います。
- ・問い合わせ先は、電話番号6494-3155です。

(担当 原田)

☆教育総合センターの場所および交通アクセス

- 住所：尼崎市若王寺2丁目18番1号
- ・旧聖トマス大学跡にある教育総合センターは、本市の北東部に位置し、最寄りの阪急園田駅から、約1.1kmの距離にあり、徒歩で約15分かかります。
 - ・阪神バス(11系統 阪急園田駅南側～JR尼崎駅北側)が北側道路(県道西宮豊中線)を概ね1時間に3本運行しており、百合学院前で下ります。

阪急園田駅南側～百合学院 所要時間 約 3分

JR尼崎駅北側～百合学院 所要時間 約 12分

- ・駐車場および駐輪場あり



☆「教育あまがさき」の原稿執筆や写真、作品提供にご協力ください。

(担当 入江)

